

一緒に絵を観にいきましょう

桜満開の頃、町会の皆さんと一緒に絵を観にいきましょう。国立新美術館の示現会（4班の上野英樹さんが展示）をみて、帰りに六本木を散策、お茶を飲んで桜を見て来ます。会費は交通費とお茶代のみ。

大勢のかたのご参加をお待ちしています。

日時：4月4日(水)

13時南北線東大前駅

改札口集合

参加希望の方は3月

末までに予めご連絡

ください。連絡先：

橋本3815-8697

上野英樹さんの美術展

示現会展

国立新美術館

4月4日(水)～4月16日(月)

10:00～17:30

火曜日は休館日最終日は15時閉館

入場料は上野さんに直接お問い合わせください。

催し物のお知らせ

大津さんの音楽会

～モーーツァルトとシューベルトのゆうべ～

5月19日(土)19:00～

ルーテル市ヶ谷センター

前売り券2000円

8班の大津さんご一家が毎年主催されている音楽会です。

ご希望の方は直接お問い合わせください。

趣味「写真から模型へ」

5班 沢井富雄

40年ほど昔の学生時代は写真を趣味としていました。押入れの半分を暗室としてフィルム現像とプリントなど自前で楽しんでいましたが、あることを機会にSL(蒸気機関車)を撮ることに夢中になりました。全国的に電化が進み残り少ない現役の蒸気機関車を追いかけて各地へ出かけました。昭和47年頃の最後まで非電化の北海道は特に魅力でした。

社会人となっても金曜の夕刻、会社の帰りにそのまま上野駅から夜行寝台特急に乗り、青函連絡船に揺られ函館から特急おおぞら号に乗り換え苫小牧や室蘭、追分機関区などへ土、日曜と二日間、北海道内で蒸気機関車を追い続け夕刻にはまた特急と連絡船と寝台特急でとんぼ返り、月曜の早朝に上野駅着で、そのまま会社へ出勤するという行動を度々行っていました。数十回の訪問でも観光は一切なし、ただただ鉄路を求めて歩くのみ。

冬期の北海道は厳しい寒さで特に2月の旭川や名寄や塩狩峠地方などはマイナス20度以下にもなり、空気が凍るダイヤモンドダストが見えます。朝出かける前に宿で作ってもらった「おむすび」が凍っていました。腰の辺りまで沈む深雪を掻き分け、絶好の撮影場所を見つけるために、ひたすら線路脇を歩きました。一日に2本だけ通過する当時の貴重なC55型蒸気機関車を待っていたときなどが、楽しかった思い出です。

現在は鉄道模型(Nゲージ)を趣味としてジオラマ作りや運転、収集とさらに動画撮影を楽しんでいます。

この写真は、現在は廃車が進み見ることが少なくなりました113系の湘南電車で約35年間通勤に利用した電車の模型です。特別な思い出があり収集したものです。



つつじ祭りの甘酒茶屋手伝い募集

5月5日(祝) 8:30～16:30

毎年行われている根津神社つつじ祭りの甘酒茶屋の手伝いが今年もあります。

今年の当町会のお手伝いは5月5日になりました。10名を募集しております。

お手伝い可能な方は4月15日までに係りにご連絡ください。

帰りにおいしいお饅頭のお土産があります。

連絡先：柴田 (3812-2978)

佐藤 (3813-7509)



D級ポンプ

消火訓練

毎月第一土曜日

10:30～

水道局駐車場

4月7日(土)

5月12日(土)

今回、5月は第2土曜日となりますのでご注意ください



資源回収



毎月第2水曜日

4月11日(水)

5月9日(水)

今後の行事予定(4月～5月)

4/7 第1回役員会 班長交代決算予算審議 19:30～地域C 総務部

4/7～5/6 第43回文京つつじまつり開苑式 14:00～文京つつじ会

4/6～15 春の交通安全運動本富士交通安全協会・区交通安全協議会

4/19 つつじ祭り来賓観舞会・根津神社 11:00～

5月末予定 自転車交通安全&おもちつき・誠之小:午前 向丘地区対

中山道 東 片 飛脚便

第53便

中町会ホームページ <http://nakachoukai.web.fc2.com/index.html>



総会のお知らせ

町会員の皆様には、日頃から町会活動にご協力とご理解を賜り誠にありがとうございます。

本年も5月13日(日)18:00から

「第37回中町会定時総会」の開催を予定いたしております。

総会では、本年の町会活動と新年度の活動予定の報告、および本年度の会計決算と新年度の予算案の報告が成されます。

活動については、年6回発行する町会報「飛脚便」でその都度お知らせいたしておりますが、やはり大切なことは、町会員の皆様に納めて戴いた町会費がどのような形で予算の執行が成されているのか、また町会の発展にどのような活動が行われているのか、

5月13日(日) 18:00～
向丘地域活動センター2階

5月の定時総会に出席を!!

さらに皆様には見えない部分の他町会や文京区との連携活動の内容等をご理解戴くには貴重な機会でございます。

班長としてお手伝い戴きました皆様には、隔月で開催される役員会の中で詳細に報告をしておりますが、各

種の会合や活動にご参加いただく方がごく一部の方に限られている様に思われます。書面での報告では完全にご理解頂くことは難しいのではと推測致しております。総会の詳細については後日資料をお配りしますので、ご検討の上是非とも大勢の皆様の参加をお願い申し上げます。(総務部 沢井富雄)

根津神社例大祭の取り組みを考える 中町会副会長祭事部長 岸紀代治



今年は、2年ごとに行われる根津神社例大祭の当たり年です。これまで中町会としても最大行事の1つとして取り組み、賑々しく根津神社宮入もしてきました。ちなみに、前回までを振り返ってみると、①神輿・山車・祭り神具の根津神社神輿庫からの運び出し・搬送、②神酒所づくり、神輿・山車の組み上げ・飾り付け、③神輿の担ぎ手の町外からの「助っ人」の依存(町会神輿の大きさ、重さから100名前後の担ぎ手が必要)さらに④神酒所・神輿・神具の片付け(神輿庫への整理・収納が深夜におよんでしまう)等々、並々ならぬ人手・労力・費用を費やしてやってきました。そのため、町会の手では足りず、外部の方(「祭り友好睦会」・「神風連」の方々など)の力を借りて対処してきたのが実情です。今年、祭事部の私としては、そのような祭りへの取り組み方が役員・婦人部・町会員の皆さんに過度の負担になっているのではと思われてなりません。もっと簡素化し無理を省いていく必要があるのでは?中町会にとって変化の年なのではないかと思案しています。この点については、皆様のご意見をよく聞きながら今後の役員会等で協議を重ね、町会員の皆さんが真に楽しんでいただけるお祭りを準備していきたいと思っております。

防災対策について 中町会副会長防災部長 北村治夫

ここ数年以内に大きな地震(6～7クラス)が関東地方に起きる確率が高いと発表されていますが、東日本大震災を見るにつけ、どのような対策をしたら良いのかを考えてみました。行政が、何かしてくれるのを待つのではなく、各家庭で準備をしておく事が大事だと思います。

先ず家の補強、塀の倒壊防止、家具の固定(倒壊による怪我や圧迫)、火災を起こさない。飲料水、食料、ラジオ等、昼夜に関係なく起きる事での準備対策をしておきたいものです。避難所には、出来るだけ行かないで済む様にしたい、近隣の家庭とは、この様な時に助け合える関係を持っていたいと考えています。中町会は約200数世帯しかない町会です、情報交換をお互いにして、その際には被害が少しでも少なくしたいものです。





3月17・18日箱根町会旅行に行ってきました



二次会も大いに盛り上がりました

中町会旅行実行委員会委員長
塚本 隆(7班)

久々の中町会主催一泊旅行が開かれ、16名が参加しました。

17日は朝から生憎の雨、8時にアルル館前をマイクロバスで出発。途中小田原城、神奈川県立生命の星地球博物館を見学、箱根湯本で昼食、14時予定通り文京区の施設強羅「文の郷」に到着。その後は各自ゆっくり温泉に浸かったり自由時間。18時より夕食と宴会。恒例のビンゴゲームなど大いに盛り上がりました。

18日は8時半出発、雨もあがり天気はまずまず。大涌谷を散策、延命長寿の名物黒玉子を食べ、芦ノ湖畔の箱根神社に参拝、残念ながら富士山は雲の中で裾野が少ししか見えませんでした。甘酒茶屋で甘酒を飲み、旧街道一里塚を横に見ながら寄木細工作業所に寄り、そして蒲鉾工場へ。当日は彼岸の車で混雑が予想

されたので予定を繰り上げ早めの帰京となり15時にアルル館前に到着しました。2日間の旅行でしたが相互の絆がとても深まりました。次の機会には是非多数の方の参加を期待します。



『大涌谷から見た富士山』 画：4班上野英樹さん

14階マンション『Brillia東大前』 と管理運営協定を締結



写真でご覧のように中仙道(国道17号線)沿いの14階建てのマンション『Brillia東大前』がほぼ全貌をあらわしてきました。

今年9月下旬には30世帯余の方々为新住民として入居してくる予定になっています。

中町会はこちらの方々を心から歓迎するものですが、そのためにも①暴力団、特定宗教団体等、反社会的勢力とその構成員、関係者ではないこと、②中町会という自治組織があることを知り、理解していただき、③中町会が行う防災・防火・防犯活動、祭事、その他のイベントに参加して地域住民との交流を積極的に図り、地域の良好な

環境の維持や発展に協力してくださること④自らの意思により町会に加入し町会費を納めてくださることなどを了解してもらうことが欠かせません。このため、正副会長と販売者の(株)東京建物との間で協議を重ねてきました。その結果、(株)東京建物が販売時点で『重要事項説明書』(購入者に詳しく説明することを義務付けられている)に上記諸点を記載、説明し了解を得ること、今後マンション住民によってつくられる管理組合にそれら諸点が継承される旨の確約を得て合意に達し、平成23年10月7日付をもって協定書を取り交わしました。あとは、入居してこられる方々の良識、見識にゆだねることになりますが、この協定が実効をあげるよう引き続き努めて行きます。なお、紙面の関係によりご報告が遅延しましたが、組織的には昨年9月開催の役員会において報告、協議し了承を得ていますことを申し添えます。

(10班橋本)

向丘・西片地域に 特養ホームと知の拠りどころ図書館の建設を！



文京区の5カ年間の計画説明会(11.12/15不忍通りふれあい館)に参加してきました。その中で、当町会が会議や色々な集まりに利用している区民施設『向丘地域活動センター』の跡地の今後のあり方も大事な議題の一つになりました。センターは現在建設中の第6中学校に隣設され、H27年には『アカデミー向丘』とともに移転する予定です。その跡地をどう利用するのですが、区の家では両施設とも暫定的には「子育て支援施設の耐震化工事における代替施設」に、中期的には、

活動センターは「高齢者福祉施設」アカデミーは「創業支援施設」を中心に検討するとのことでした。区のこの考えをもとに、改めて文京区の地図を空の上からみてみると、両施設がある地域(向丘・西片地域)に高齢者福祉施設である特別養護老人ホームと図書館がないことに気づきます。ポカッと穴が空いているのです。文京区の特養は現在5箇所、図書館は11箇所です。特養の待機者が900人?もいると聞いています。これから5年後もっと待機者は増える予想です。



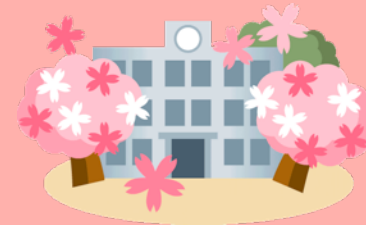
こういう機会に、この地域に特養ホーム等の老人福祉施設や図書館をつくってもらいたいと思いました。向丘地域の区有地(向丘保育園の改築も考慮に入れたい、必要なら民間地の買い取りも含めて)全体を見直し、特養等と図書館の建設はぜひしてもらいたいものです。同時に、それらを実現させるためには、まず何よりも高齢者など利用者自身が率先して、今こそ要望の声を上げていくことが必要と感じました。

(橋本洋子)

ご入学 おめでとうございます

今年は以下6人の皆さんが新入学です。おめでとうございます。町会では3月20日に皆さんと一緒に根津神社に参詣に行ってきました。

- たかはた まひろ
2班 高畑 眞礼さん
- よしもと こういち
2班 吉元 公一さん
- よしかわ もとのり
7班 吉川 元理さん
- いけだ なるは
8班 池田 成羽さん
- う ちえん
12班 于 知艶さん
- はやかわ まお
12班 早川 真桜さん



職を退いた後の身の処し方は、その人の意思や個性に応じて様々です。あるアンケートによると、日々是好日・悠々自適型派(46.4%)、近隣形成・日常世話役派(21.6%)、「職慾」旺盛・アクティブ派(18.2%)、趣味一筋派(10.0%)といった、ほぼ4つに大別できる結果になったそうです。



定年を迎えたみなさんへ ～退職後はぜひ近くの人たちと一緒に～

確かに退職後は、好きなことをやってのんびりとすごしたり、かつての同僚や遠くの旧友と会い、時間の過ぎるのも忘れて話に興じるのは無論楽しく、とてもいいと思います。しかし、長い日常生活のなかでは頻度や経済面で限界があるものです。おもえば、平均寿命(女性86.4歳、男性79.6歳)一つとっても大まかにいって20年以上という長い時間を生きていくことになります。加えて、3.11の一連の出来事は価値観をも変えてしまうような多くの教訓を残したのだと思います。できうるならば、そういう点を見こして、定年を契機に近隣形成派に加って欲しいのです。町会活動には、行政からの伝達や当面のゴミ出しや苦情処理といった印象をもたれがちですが、ただそれだけにとらわれないで、近隣づくり、町づくり、老後の協力などをにらんだ話しあいや行事に参加して生きていくのも有意義なのではないでしょうか。(H)